

大分県警へ高齢者事故防止啓発チラシ・反射材を8千部寄贈

～おおいた冬の事故ゼロ運動「夕暮れ時と夜間の交通事故防止」に協力～

一般社団法人日本損害保険協会大分損保会(会長：甲斐 友邦 東京海上日動火災保険株式会社 大分支店長)では、12月12日、大分県警へ高齢者事故防止啓発チラシおよび、反射材(ブラックほたるくん)を8千部寄贈しました。

始めに 甲斐 大分損保会 会長から、「大分県内の交通事故の各種統計は好転しており、死亡者数も昨年と比べ、2名減少しております。しかし、そのうち65歳以上の高齢者の死亡者数は6割を超えている状況となっており、引き続き取り組む課題であると認識しております。大分県では、昨日から12月17日まで「おおいた冬の事故ゼロ運動」において「反射材の着用」と「早めのライト点灯」が促されていることから、今回寄贈するチラシや反射材をご活用いただき、事故ゼロ運動に役立てていただければと考えております。」との挨拶がありました。

チラシ等の贈呈を受けた大分県警察本部 後藤 交通部長から、「平素から交通事故安全対策支援事業にご協力いただきありがとうございます。県内の交通事故死亡者数は過去最低で推移しておりますが、本日、残念ながら大きな事故が発生しております。警察としては年末に向けて「早めのヘッドライト点灯」や「反射材の着用」を訴えかけるため、「照Time-17(ショー・タイム17:17時からの車のライト早めの点灯)」をキャッチフレーズとして街頭活動を強化しており、チラシと反射材を活用させていただきたい。」とのお礼の言葉をいただきました。

大分損保会では、引き続き、県警の交通事故防止活動へ協力をしながら、効果的な交通事故防止に取り組んでいきます。

* 高齢者事故防止啓発チラシ 下記URLからチラシ(PDF)をダウンロードいただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kyushu/2024/2412_chirashi.pdf



贈呈の様子



寄贈式記念写真